

委員会提出議案第1号

地域医療を守るための医療従事者不足対策及び診療報酬の更なる引上げ  
を国に求める意見書の提出について

上記の議案を別紙のとおり、南相馬市議会会議規則第14条第2項の規定により提出します。

令和8年3月30日提出

南相馬市議会議長 鈴木昌一様

提出者 文教福祉常任委員長  
田中一正

地域医療を守るための医療従事者不足対策及び診療報酬の更なる引上げを国に求める意見書（案）

我々の医療圏となる相馬地方においては、少子高齢化、人口減少の進行に加え、医師や看護師等の医療従事者の都市部への偏在、さらには地域で診療を担ってきた医師の高齢化が進行しており、人材の確保が一層困難となっております。その結果、地域医療体制の維持が困難な状況に直面しております。

特に、小児科や産婦人科等の診療科、救急医療、在宅医療、休日・夜間診療等の分野では、限られた医師に過重な負担が集中しており、加えて高齢の医師が現場を支え続けざるを得ない実情も相まって、医療の質と持続性の両立が大きな課題となっております。地域住民が安心して医療を受けるためにも、地域の実情に応じた医師・看護師等の医療従事者の確保や世代交代を見据えた医療体制について、国による積極的な支援が必要であります。

また、昨今の物価高騰、人件費や医療資材費の上昇は、公定価格である診療報酬によって運営している地域の病院や診療所の経営を圧迫しており、現行の診療報酬体系では、地域医療を安定的に継続することが困難になりつつあります。

政府は診療報酬改定にあたり、医療従事者の技術料及び人件費にあたる本体部分を令和8年・9年度の2年間平均で「プラス3.09%」へ引き上げる決定をしましたが、地域医療を持続可能なものとし、かつ、住民が安心して医療を受けられる体制を確保するためには、今後、診療報酬の更なる引上げが不可欠です。

よって、南相馬市議会は、国会及び政府に対し、地域医療を守るため下記事項の実現を求めます。

#### 記

- 1 相馬地方をはじめ全国的に十分な医療体制確立が困難な地域に対し、若手医師・看護師等の医療資源の確保が図られるよう養成や派遣に関する支援策を講ずること。
- 2 当地域をはじめとする地方の医療機関が存続する為にも、物価高騰や人件費上昇を十分に反映した診療報酬の更なる引上げ及び地域加算の充実を実施すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。

令和8年 3月30日

南相馬市議会議長 鈴木 昌一

衆議院議長	殿
参議院議長	殿
内閣総理大臣	様
総務大臣	様
財務大臣	様
文部科学大臣	様
厚生労働大臣	様
復興大臣	様